令和6年度兵庫教育大学教員研修プログラムシラバス

講習ID	2401									
講習名	ミスやピンチから学ぶ「こんな時、どうする？」【情報共有と組織力の向上】									
講習活用区分	☐ 自主研修		☐ 中堅教諭等資質向上研修（兵庫県、神戸市、堺市）							
実施日時	令和6年7月21日（日） 9:30～15:55								振替対応	有
募集人数	40人		最少開講人数	8人						
受講料	無料									
実施形態・会場	対面型									
	神戸キャンパス				教室	兵教ホール				
対象校種	☐ 保育士		☐ 幼稚園教諭		☐ 小学校教諭					
	☐ 中学校教諭		教科指定：	無		☐ 高等学校教諭		教科指定：	無	
	☐ 特別支援学校教諭		☐ 養護教諭		☐ 栄養教諭		その他対象：	☐ 教育委員会等事務局職員		
対象職位	☐ 若手		☐ 中堅		☐ ベテラン		☐ 学校管理職		☐ トップリーダー	
担当講師	講師1	氏名： 稲垣 健			所属： 一般財団法人神戸市学校給食会					
	講師2	氏名： 里 昭憲			所属： 神戸市教育委員会					
	講師3	氏名：			所属：					
到達目標	日々の学校（園）経営ではさまざまなトラブルや事故が起こる。それらの未然防止や程度軽減に向け、現場で実際に起こった多くの事例をもとに、グループワークによる討議や考察作業を行う。自身の想像力や傾向（癖）を生かしつつ、積極的にメンバーとコミュニケーションを図り、軽視されがちな情報共有の意義や価値について学びを得ると共に、その重要性に気付くことをめざす。									
講習目的・内容	教育現場には多種多様な業務があり、日々さまざまな出来事が起きているが、一個人として完璧な対応を心掛けても、知らず知らずのうちにミスやピンチは忍び寄ってくる。その時々状況や様々な経験等を職場で情報共有できれば、似た状況下における類似案件の未然防止に役立つとともに、情報としての価値も高まるだろう。ミスやピンチを学校全体で共有できる文化や風土、手立て等について、演習やグループワークを通して考えると同時に、その重要性に気付くことをめざす。									
講習計画	【時間】			【内容】						
	9:30	～	9:35	オリエンテーション						
	9:35	～	10:30	講義「教育現場の変容と情報共有の難しさ」「失敗やミスの価値」について						
	10:40	～	12:00	演習（グループワーク①）「教育現場の日常に潜むピンチの芽を見つけよう」						
	13:00	～	14:00	演習（グループワーク②）【グループワーク①の続き】						
	14:10	～	15:50	演習（グループワーク③）「実際に起こった事例を基に対応を考えてみよう」						
	15:50	～	15:55	アンケート						
		～								
	～									
受講者の方へ	<ul style="list-style-type: none"> ・受講にあたっては、大学からの通知（郵便・メール）をご確認ください。 ・演習（グループワーク）の際は、メンバーからマスク着用が望まれるかもしれません。 									
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・本講習は地域センター事業の一環として無償で行います。 									